

群馬県がん患者団体連絡協議会

ニュースレター♪

2009年12月1日 第17号



～主な記事～

- ◇ **がん征圧共同キャンペーンを実施しました**
- ◇ **第5回がん患者大集会 参加報告**
- ◇ **第3回群馬県立病院改革検討委員会報告**
- ◇ **掲示板「がんサロン」「群馬のがん情報ホームページ」の紹介**

がん征圧共同キャンペーンを実施しました

平成21年10月31日(土)、グリーンドーム前橋において上毛新聞社主催の「ハワイアンinグリーンドーム1000人フラ」が開催され、この場で群馬県がん患者団体連絡協議会によるがん征圧共同キャンペーンを実施しました。

がん連協による共同キャンペーンは今回で3回目。1000人フラは特に「ピンクリボン運動」をイベントの中心に据え、乳がんの早期発見・早期治療の重要性を参加者や来場者に呼びかけるものです。

当日は、みのり感謝祭(群馬の名品、物産が一堂に会しました)も併せて開催され、2万8千人を超える人出があったそうです。

がん連協のブースでは様々な啓発品を配布した他、乳がんモデルを展示し、実際にしこりを探しながら自己検診の大切さ、さらにはマンモグラフィー検診の重要性を知っていただくことを目標に、多くの人に呼びかけました。

PRタイムでは本田会長によるがん連協の紹介や、ご自身が患者会活動を始めたきっかけについてステージ上で話をして下さいました。会員のみなさんはキャンペーンをしながら他の患者会の人たちと楽しくお話しをされたり、買い物も楽しんだり、がん連協のブースは一日中にぎやかでした。

参加していただいた38名のみなさん。ありがとうございました。

編集・発行/(財)群馬県健康づくり財団



☆ 第5回 がん患者大集会 参加報告

群馬がん看護研究会 狩野太郎

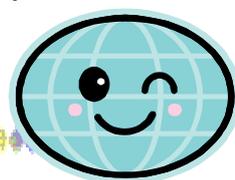
去る平成21年11月8日(日)、東京築地の国立がんセンターをメイン会場として、全国18カ所のがんセンター・病院をテレビ会議システムで結んで、第5回がん患者大集会が開催されました。当日、群馬会場の県立がんセンターには、1・2の3で温泉に入る会群馬支部の皆さんや、県立がんセンターの福田敬宏院長、猿木信裕副院長をはじめ、約20名が参加しました。

「変えていきます、見届けます、私のまちのがん医療2009」をテーマに、プレイベントや全国の患者の声をまとめたVTRが放映され、日本医療政策機構 がん政策情報センター長の埴岡健一氏をコーディネーターに、ジャーナリストの鳥越俊太郎氏、国立がんセンター前総長の垣添忠生氏、厚生労働省 がん対策推進室長の鈴木健彦氏らをパネリストとしたパネルディスカッションが行われました。

VTRの冒頭では、群馬県がん患者ミーティング2009の様子と共に、ひまわりの会の根岸さん、がん連協会長であけぼの群馬の本田さんのインタビューが放映されました。お二人のインタビューでは、がんの体験を通してご自身の生き方が大きく変化したことが紹介され、がんの体験は必ずしもつらく悲しいことばかりではなく、がんを引き替えにかけがえのない仲間や、大切な時間を手に入れることができた、という前向きなメッセージが紹介されました。その後、北海道から名古屋、沖縄にいたる取材レポートが展開され、拠点病院へのアクセスや希少がんへの対応に関する問題、海外で標準的に用いられる抗がん剤が日本で未承認となっている「ドラッグ・ラグ(drug lag)」の問題、患者サロンや相談支援センターの活用に向けた課題などが紹介されました。

予定を延長し4時間にもおよぶイベントとなりましたが、なかなか論点が絞り込めず、また、鳥越氏の質問に対する厚労省担当者の「官僚答弁」には、正直なところ辟易してしまいました…。開会式では厚生労働大臣政務官の足立信也氏が挨拶に立たれていたため、官僚任せにせず政務官がパネルディスカッションに参加していれば、もう少し有意義な会になったと思います。

全体としては少々消化不良気味の印象でしたが、中にはきらりと光る報告もあり、群馬でも見習いたいと思いました。例えば、島根、高知、新潟、神奈川などいくつかの県では「がん対策条例」が制定され、がん対策の推進に対する県の役割と責任、県民や患者との協力が明示され、一方、愛媛県では県議会議員45名中44名が参加するがん対策議員連盟が結成され、議員連盟主催の「愛媛がんフォーラム」が開催されているとのことでした。今回大集会に参加し、私たちががん連協も、群馬県のがん対策の推進に向け、もっと県民の皆さんや県議さん、マスコミの皆さんと交流を深めなくてはいけないと感じました。具体的には、がん連協の中に「がん対策推進検討委員会」というような作業チームを作って、今まで以上に患者の声や意見を県民の皆さんやマスコミ、行政、医療機関などに伝えて行くことが必要だと思います。そして、今後は拠点病院の院長会議などに参加させていただき、患者の代表として意見を述べると共に、患者の側から拠点病院を支援できるような関係づくりを進めて行きたいと思います。少し先の話になりますが、来年度の「群馬がん患者ミーティング2010」では、がん患者と県民の皆さん、議員さん、院長さん、行政担当者、若手からベテランに至る医療従事者の皆さんにご参加いただき、座談会や交流茶話会を開催してみるのはいかがでしょうか？交流を通して、患者の声を多くの県民の皆さんに伝えることができれば、群馬のがん対策を大きく前進できると思います。



☆ 第3回 県立病院改革検討委員会の報告

群馬県(病院局)が主催する群馬県県立病院改革検討委員会の委員に当協議会の本田会長が就任し、先日11月4日に第3回委員会が開催されました。がん連協に関係の深い「県立がんセンター」について本田会長から報告がありましたので紹介します。

県立がんセンター関連の進捗状況

- 医療サービスの向上 高度専門医療の充実・強化
 - 4月から婦人科の入院診療を再開した。すでに患者数は2000人を越えている。
 - 前立腺がんなどに対するIMRT治療を開始。
 - 乳腺外科で抗がん剤投与時に使用する新技術を開発(エコーガイド下静脈ポート挿入術)
- センター機能の強化 地域連携の強化
 - 専門スタッフを配置して、地域医療連携体制を強化するとともに、新たな地域医療連携策に着手した。
- 経営の健全化
 - 費用の抑制 ○診療材料費の削減に向け、ベンチマークシステムを導入した。
 - 経営意識の向上 ○経営改善推進本部を立ち上げ、経営改善策検討を行なった

総務課関連の進捗状況

- 医療サービスの向上 医療安全の推進
 - 医療安全対策を徹底するため、各病院独自の取り組みに加えて、4病院を対象にした講演会を開催した。
 - より優れた人材を育成するため、職員が在職したまま高等教育を受けられるよう環境を整備した。
- センター機能の強化 人材育成機能の強化
 - 他病院からの短期間の研修医の受け入れ可能とする研修制度を図った。
- 経営の健全化 収益の向上
 - 未収金回収のため、委託職員を雇用し、病院と協力して訪問撤収を実施した。
 - 民間債権回収業者を活用し、未収金徴収の取り組みを強化した。
- 費用の抑制
 - 医薬品購入費の一層の削減に向け、購入方法を見直した。
- 経営意識の向上
 - 病院全体で改革実現に向けて取り組むため、病院局幹部が各病院を訪問し部門ごとに意見の交換を行った。
 - 改革プランを周知徹底するため、県立病院改革通信を毎月発行した。
 - 部門別原価計算の精度向上や利用拡大のため集計方法の見直しを行なった。



掲示板



がんサロンや
ホームページの紹介です。

♪ 私たち患者会の願いである「がんサロン」が次々に開設されています。
これからは、積極的に訪れて、みんなで一緒にがんサロンを育てていきましょう♪



がん連協が発足してから常に私たちが強く願っていた「がんサロン」設立の輪が各診療連携拠点病院で確実に広がっています。群馬大学医学部附属病院の「なごみサロン」、藤岡総合病院の「なごみ」、西群馬病院の「やすらぎ」、桐生厚生病院の患者サロン...などです。この他の診療連携拠点病院では相談支援センターがそれぞれ患者・家族の相談に対応したり行事を企画されたりしていますが、患者や家族がふらりと訪れて話をしたり情報交換をする場としてサロンが設置されることは私たち患者会の大きな喜びでもあります。

これからは私たちの出番です。せっかくできたサロンも活用されないのではもったいない。ご自身の不安を和らげ、リラックスできる場にするため、または新しく悩みを抱えた患者・家族の心のよりどころとなるため、患者会みんなで盛り上げていき、やがて群馬県内のあちこちにさまざまなグループが集えるサロンがたくさんできることを期待します。

まずはふらりと訪れてみて下さい。仲間と誘い合わせの上、行事に参加したり、スタッフや来訪者とおしゃべりをしたり、がん連協の宣伝をしたり(?)...みんなで患者・家族にとって居心地のいい場に育てていきましょう。

♪ ひまわりの会 今井さんが運営するホームページ「群馬のがん情報」を紹介します♪

ひまわりの会会員、今井さんが、ホームページ「群馬のがん情報」を運営しています。がんを知る、がん診療拠点病院や相談支援センター情報、患者会情報、一般向けがん関連イベント情報など多岐にわたり、知りたい専門機関のホームページにすぐアクセスすることもできます。がんサロンについては実際に今井さんは患者会会員と訪問し、どのようなところが写真も交えわかりやすくレポートして下さっています。今井さんのサロン訪問記では、そこにいる患者さんも医療スタッフも楽しそうな笑顔を見せて下さるのが印象的です。新聞報道などの記事・コラムも常に更新されています。これだけきめ細かに管理することは大変だと思いますがこれからも患者会がいろいろな情報を共有できますよう、ますますのご活躍をお願いいたします。

URLは <http://www5.wind.ne.jp/GNG/> またはヤフー検索サイトで「群馬のがん情報」と入力し検索すると上位に上がってきます。

【群馬県がん患者団体連絡協議会 事務局】

〒371-0005 前橋市堀之下町16-1
(財)群馬県健康づくり財団 総務部 総務課

電話027-269-7811・FAX027-269-8928
E-mail soumu3@gunma-hf.jp

編集後記

大人になってからの習い事はとかく頭で考えて上手になるような気がしていて、なかなか上達しません。あるバイオリニストのお母様が、その子が小さい時にとにかく1日10分の練習だけは必ずさせたという話を思い出し、継続は力なりを実践しようとしています。続けることも大変です。来年はもう少し上手になるといいなと思います。

編集担当 荒木美保

